

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

<b>募集分野</b>		登録番号	
■募集分野	保健医療（感染症対策）	■募集人数（人）	1
■学位	博士		
■担当部署名	人間開発部 保健第一グループ		
<b>■募集の背景</b>			
<p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界各国において保健システムの脆弱性が露呈し、多くの国で対応能力の不足、対応の遅れにより感染者、死者の増加に直面する事態が生じた。新型コロナ以外にも新興・再興感染症の突発的な流行が発生しており、一国だけではない対応が必要とされている。さらに、顧みられない熱帯病（NTDs）など、低中所得国に対してより被害を与えている感染症への対処も継続的に取り組む必要がある。</p> <p>これら感染症への対応を強化するために、各国における感染症への対応能力（研究、検査、サーベイランス等）の向上が必要であり、また国を越えたネットワークの構築による感染防止の体制整備が急務である。</p> <p>JICAはこれまでケニア、ガーナ、ベトナム等において、感染症対策の拠点となる検査研究機関の拡充の支援をしてきているが、新型コロナウイルス感染症による健康危機も踏まえ、これら支援のニーズはさらに高まるが見込まれており、グローバルアジェンダ「保健医療」及びJICA保健医療イニシアティブにおいても感染症対策を重点としていることから、途上国のニーズに対応できる人材の育成が急務とされている。</p>			
<b>■本事業を通じて育成が期待される人材像</b>			
<p>途上国における感染症関連の経験を持った人材が人材育成事業を通じて保健医療・感染症対策分野の博士号を取得することで、感染症対策にかかわる理論及び実践対応策を理解し、各国感染症検査研究機関の研究・検査・サーベイランス能力強化のための制度整備支援、技術支援及び国を越えたネットワーク形成支援等を行うプロジェクトや強靱な保健システムづくりに取り組むプロジェクトのチーフアドバイザー又は感染症分野の政策アドバイザー専門家等として活躍人材となることを想定。</p>			
<b>■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）</b>			
<p>London School of Hygiene and Tropical Medicine, Doctor of Public Health (DrPH)          Harvard T.H. Chan School of Public Health, Doctor of Public Health (DrPH)          Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health, Doctor of Public Health (DrPH)          ※研究コースの例となりますので、これに限るものではありません。</p>			
<b>■参考情報</b>			
<p>JICA保健医療分野事例紹介 (<a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/case.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/case.html</a>)          JICA感染症分野テクニカルブリーフ (<a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/more_technical.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/more_technical.html</a>)          JICA新型コロナウイルス感染症への対応 (<a href="https://www.jica.go.jp/COVID-19/ja/index.html">https://www.jica.go.jp/COVID-19/ja/index.html</a>)</p>			
<b>■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間</b>			
<p>学位取得後に1-2年程度のJICA本部勤務または専門家等としての派遣を想定していますが、研修中に本人と適宜相談のうえ調整。</p>			
<b>■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）</b>			
必須	関連分野修士号又はそれと同等以上学位号		
必須	当該関連分野に関連する5年以上の実務経験を有すること。		
必須	JICA専門家/企画調査員等として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外経験を有すること		
<b>■備考・留意点</b>			
<p>新型コロナウイルス感染症で見られたとおり、感染症は保健医療のみならず経済・社会に様々な影響を与える可能性があります。また、NTDsのように流行地での住民の生活スタイルに起因する感染の定着が見られることもあります。感染症対策を学ぶ際においても、そのような保健医療分野内外への影響や人びとの社会文化面を考慮し、幅広い視野で物事を見る力を涵養頂けることを期待しています。</p>			